

江田島市教育委員会事務点検・評価報告書
(平成28年度事業対象)

平成29年6月
江田島市教育委員会

目 次

1	教育委員会の点検・評価制度の概要	1
2	点検・評価の結果（8事業）	
	・教職員の服務規律の厳正確保を図る	2
	・児童生徒の学力の向上を図る	4
	・児童生徒の豊かな心を育成する	5
	・児童生徒の体力の向上を図る	6
	・公民館講座等の充実を図る	7
	・市美術展の充実を図る	8
	・歴史資料館の活性化を図る	9
	・図書館の充実を図る	10
3	外部評価委員の意見	11
4	その他	15
資料1	平成28年度江田島市教育委員会 経営計画	18
資料2	平成28年度江田島市教育委員会 自己評価表	20

1 教育委員会の点検・評価制度の概要

(1) 点検・評価の趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条により、平成20年4月から教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することを義務付けられました。

この報告書は、同法の規定に基づき、江田島市教育委員会が行った点検・評価の結果をまとめたものです。

なお、同法の規定の「教育に関し学識経験を有する者」については、本市では、外部評価委員（3名）とし、教育委員会自らが行った点検・評価の結果に対して、意見をいただきました。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

(2) 点検・評価の対象年度

平成28年度

(3) 点検・評価の対象事業

教育委員会は、平成27年度末の現状を分析した上で、特に重点を置いて取り組みたい8事業を定め、平成28年度江田島市教育委員会経営計画としてまとめました。

平成28年度に実施したこれら8事業の取組を点検・評価の対象とします。

平成 28 年度 点検評価票〔最終〕

中期経営目標	教職員の服務規律の厳正確保を図る。
短期経営目標	教職員による不祥事を 0（ゼロ）にする。

1 短期経営目標（具体）

平成 28 年度の懲戒処分件数を 0 件にする。

2 取組・方策

- すべての主催研修において、「服務規律の確保」に関する内容の講話等を行った。
（実施した 25 回の詳細については、別紙のとおり）
- 5 月を「不祥事根絶強化月間」とし、重点的な取組を行った。
- ・以下の 3 点について取り組み、実施率は 100%であった。
 - ①管理職は、目標管理に係る業績評価（自己申告）における当初申告の面談時に不祥事根絶に係る指導を行う。
 - ②服務研修（校内研修）において、過去に江田島市で生じた懲戒処分事案を扱う。
 - ③不祥事根絶に係るのぼり旗を学校教育機関の正門・玄関付近等に掲げる。
- 全児童生徒に「体罰」「セクシュアル・ハラスメント」のアンケートを毎学期実施した。
- ・各学校の実施率は 100%で、体罰、セクシュアル・ハラスメントに該当する回答はなかった。

3 評価

評価指標	懲戒処分件数
実績値（平成 27 年度）	0 件
目標値（平成 28 年度）	0 件
総合評価	0 件

○定めた取組・方策を計画的に実施し、目標を達成することができた。

4 改善策

○なし

平成 28 年度江田島市教育委員会主催研修における服務研修一覧

月	日	曜日	研修名	内 容
4	8	金	校長会	服務規律の確保について
	26	火	教頭・事務長会	服務規律の確保について
5	11	水	校長会	服務規律の確保について
	24	火	教頭・事務長会	服務規律の確保について
6	1	水	校長会	服務規律の確保について
	10	金	第 1 回初任者研修	教職員の服務について
	13	月	特別支援教育コーディネーター等研修	個別の指導計画等の作成及び活用について
	17	金	第 1 回学びの変革推進協議会 (第 1 回教務主任研修) (第 1 回研究主任研修)	著作権について
7	6	水	校長会	服務規律の確保について
	19	火	教頭・事務長会	服務規律の確保について
	25	月	生徒指導主事研修	いじめ防止対策推進法に基づく対応について
			保健主事研修	アレルギー疾患対策基本法に基づく対応について
8	3	水	進路指導主事等研修	個人情報の適切な管理の在り方
	19	金	第 2 回初任者研修	旅行命令について
9	2	金	校長会	服務規律の確保について
	13	火	教頭・事務長会	服務規律の確保について
10	4	火	校長会	服務規律の確保について
	11	火	教頭・事務長会	服務規律の確保について
11	8	火	校長会	服務規律の確保について
12	2	金	校長会	服務規律の確保について
	6	火	教頭・事務長会	服務規律の確保について
1	11	水	校長会	服務規律の確保について
	17	火	教頭・事務長会	服務規律の確保について
2	1	水	校長会	服務規律の確保について
	14	火	第 2 回教務主任研修	障害者差別解消法に基づく合理的配慮の提供について
3	3	金	校長会	服務規律の確保について

平成 28 年度 点検評価票〔最終〕

中期経営目標	児童生徒の学力の向上を図る。
短期経営目標	基礎的・基本的な知識・技能を定着させ、思考力・判断力・表現力を向上させる。

1 短期経営目標（具体）

広島県「基礎・基本」定着状況調査において、全ての教科で県の平均通過率を5ポイント以上上回る。

2 取組・方策

○学力向上に係る研修を実施した。
 ・「学びの変革」推進協議会を設置し、各校の教務主任、研究主任等を対象に、広島版「学びの変革」アクション・プランを踏まえた研究授業及び課題発見・解決学習の進め方に係る協議・演習を行った。（6月17日、10月17日、1月25日）
 ・主催研修において学力向上に係る研修や広島版「学びの変革」アクション・プランに係る講義・演習を行った。
【第1回初任者研修】 【第1回教務主任研修・第1回研究主任研修】
【特別支援教育コーディネーター等研修】 【生徒指導主事研修・保健主事研修】
【進路指導主事研修】 【第2回教務主任研修】
 ○学校訪問時に「学力向上チェックリスト」を基に、取組状況について指導助言を行った。
 ○学力調査（全国学力・学習状況調査、広島県「基礎・基本」定着状況調査）の結果の分析を行い、ホームページ及び広報（11月）で公表した。
 ○ICT活用事業、外国語指導事業として、「市町の挑戦加配」教員を活用し、ティーム・ティーチングによる計画的な授業を実施した。
 ○先進校〔茨城県古河市立大和田小学校（ICT）、東京都杉並区立天沼中学校（学力定着）〕を各小中学校の教諭1名が視察した。（11月10日、11日）報告書を作成し、各学校で活用した。

3 評価

評価指標	広島県「基礎・基本」定着状況調査の平均通過率																													
実績値（平成27年度）	小学校5年生 国語 +2.1, 算数 +1.6, 理科 +0.9 中学校2年生 国語 ▲1.4, 数学 +0.5, 理科▲1.5, 英語▲1.8																													
目標値（平成28年度）	全ての教科で県平均通過率を5ポイント以上上回る。																													
総合評価	平成28年度広島県「基礎・基本」定着状況調査結果																													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">小学校</th> <th colspan="2">中学校</th> </tr> <tr> <th>江田島市</th> <th>広島県</th> <th>江田島市</th> <th>広島県</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国語</td> <td>69.0 (+5.3)</td> <td>63.7</td> <td>76.6 (+6.9)</td> <td>69.7</td> </tr> <tr> <td>算数・数学</td> <td>74.5 (+5.1)</td> <td>69.4</td> <td>70.6 (+3.8)</td> <td>66.8</td> </tr> <tr> <td>理科</td> <td>65.8 (+5.2)</td> <td>60.6</td> <td>52.0 (+0.2)</td> <td>51.8</td> </tr> <tr> <td>英語</td> <td></td> <td></td> <td>74.9 (+5.3)</td> <td>69.6</td> </tr> </tbody> </table>		小学校		中学校		江田島市	広島県	江田島市	広島県	国語	69.0 (+5.3)	63.7	76.6 (+6.9)	69.7	算数・数学	74.5 (+5.1)	69.4	70.6 (+3.8)	66.8	理科	65.8 (+5.2)	60.6	52.0 (+0.2)	51.8	英語			74.9 (+5.3)	69.6
			小学校		中学校																									
		江田島市	広島県	江田島市	広島県																									
	国語	69.0 (+5.3)	63.7	76.6 (+6.9)	69.7																									
	算数・数学	74.5 (+5.1)	69.4	70.6 (+3.8)	66.8																									
理科	65.8 (+5.2)	60.6	52.0 (+0.2)	51.8																										
英語			74.9 (+5.3)	69.6																										
※（ ）内は、県平均通過率との差																														
○小学校においては、全ての教科で目標を達成することができた。 ○中学校では、国語、英語においては目標を達成できたが、数学、理科において県平均通過率を上回ったものの5ポイント以上上回ることはできなかった。																														

4 改善策

○「学力向上チェックリスト」（改訂版）を活用し、授業改善等について指導助言を行う。
 ○「市町の挑戦加配」教員として、中学校理科教員を配置する。

平成 28 年度 点検評価票〔最終〕

中期経営目標	児童生徒の豊かな心を育成する。
短期経営目標	① 暴力行為の発生件数を減少させる。
	② 自己効力感を向上させる。

1 短期経営目標（具体）

① 中学校における暴力行為の 1000 人あたりの発生件数を 11.5 件以下とする。
② 意識調査「自分にはよいところがあります」の問いに対する肯定的回答の割合を小学校 5 年生で 88%以上、中学校 2 年生で 85%以上にする。

2 取組・方策

<p>○校長会、教頭・事務長会で、問題行動等生徒指導上の諸問題の発生状況を示すとともに、未然防止の取組について指導した。</p> <p>○生徒指導主事・保健主事研修（7 月 25 日）で、県立教育センターのサテライト講座を活用し、児童生徒の心の回復力を育成する指導の在り方について研修を行った。また、生徒指導主事を対象に、「いじめ防止対策推進法」に基づく対応について服務研修を行った。さらに、積極的生徒指導の進め方について取組の実践報告をさせるとともに協議を行った。</p> <p>○9 月を「いじめ撲滅月間」とし、重点的な取組を行った。</p> <p>①いじめ撲滅に向けた児童会・生徒会を中心とした児童生徒の主体的な活動を実施する。</p> <p>②平成 28 年 8 月 5 日付け江田島市教育委員会教育長通知「生徒指導資料 6『いじめに取り組む』の送付について」等を活用した校内研修を実施する。</p> <p>③いじめの未然防止に向けた広報活動を行う。</p> <p>ア いじめ防止対策推進法に基づく「学校いじめ防止基本方針」及び各校の「いじめ防止委員会等設置要綱」をホームページに掲載する。</p> <p>イ いじめ相談窓口を学校便り等で周知するとともに、ホームページに掲載する。</p> <p>ウ 江田島市 P T A 連合会が作成したいじめ防止に係るのぼり旗を掲げる。</p> <p>エ 学校便り等で、「いじめ撲滅月間」の取組の紹介をする。</p> <p>○全児童生徒に「いじめ」のアンケートを実施した。</p> <p>・各学校の実施率は 100%で、認知したいじめについて児童生徒及び保護者への対応を行った。</p> <p>○教職員による生徒指導自主研究グループを発足させ、積極的生徒指導について研究した。</p> <p>○各学校で児童生徒を対象としたネットトラブル講演会を実施した。</p> <p>○ふるさと実感事業実施計画書に基づき補助金を交付し、各学校が取組を進めた。</p>
--

3 評価

評価指標	① 暴力行為の 1000 人あたりの発生件数（中学校）
	② 意識調査「自分にはよいところがあります」の肯定的回答割合
実績値（平成 27 年度）	① 15.4 件
	② 小 5 : 79.8%, 中 2 : 77.1%
目標値（平成 28 年度）	① 11.5 件
	② 小 5 : 88%, 中 2 : 85%
総合評価	① 4.6 件（暴力行為：2 件（生徒間暴力））
	② 小 5 : 91.7%, 中 2 : 67.2%

① 目標値内であった。
② 小学校では目標を上回ったが、中学校では目標値を下回った。

4 改善策

○道徳教育推進教師等を対象とした市主催研修（心の教育担当者研修会）を実施する。
○教育相談体制の充実を図る。

平成 28 年度 点検評価票〔最終〕

中期経営目標	児童生徒の体力の向上を図る。
短期経営目標	体力・運動能力を向上させる。

1 短期経営目標（具体）

体力・運動能力調査の全国平均以上の種目数割合を 77.0%以上にする。

2 取組・方策

○小学校に対して、1校1競技について指導し、各校において取組を実施した。

学校名	内容
切串小学校	投力（ドッジボール）
江田島小学校	走力（陸上競技）
中町小学校	持久力（陸上競技）
鹿川小学校	持久力（ドッジビー）
三高小学校	走力・持久力（陸上競技）
大古小学校	投力（ドッジボール）
柿浦小学校	平衡感覚（一輪車）

○県立広島大学地域戦略協働プロジェクトを活用し、体力・運動能力についての分析を基に、各校に指導を行った。

○江田島市体力向上推進協議会の授業研究会において、児童生徒の体力向上に係る具体的な指導を行った。（10月18日）

○体力・運動能力調査において優秀な成績をおさめた児童生徒を市教育委員会と江田島市体力向上推進協議会が表彰した。

○体力・運動能力調査の結果をホームページ及び広報（1月）で公表した。

○中学校に対して、補助金事業で公式大会以外の練習試合についても補助した。（中学校体育連盟主催の大会について、平成26年度から安芸郡と合同で開催している。）

3 評価

評価指標	体力・運動能力調査の全国平均以上の種目数割合
実績値（平成27年度）	75.7%
目標値（平成28年度）	77.0%
総合評価	81.3%

○目標を達成することができた。

4 改善策

○なし

平成 28 年度 点検評価票〔最終〕

中期経営目標	公民館講座等の充実を図る。
短期経営目標	公民館講座の若年層の利用者数割合の増加を図る。

1 短期経営目標（具体）

公民館講座の若年層（50 歳未満）の利用者数割合の増加を図る。

2 取組・方策

- すべての講座でアンケートを実施した。
- 若年層ニーズにあった講座等を実施した。

若年層（50 歳未満）対象講座（全 71 講座から抜粋）

講座名	実施日	主催（場所）	種別	実績（人）	若年層参加率
生き物ふれあい講座	7/29	江田島公民館	新規	28	85%
夏休みモノづくり講座	8/8	切串公民館	新規	5	100%
夏休み特別企画なぎさで万華鏡	7/30	中町公民館	新規	24	100%
中町公民館でいろいろ体験Week!	8/8	中町公民館	新規	36	94%
大正琴演奏会	11/25	中町公民館	新規	29	100%
バードウォッチング入門教室	7/3	沖美公民館	継続	11	100%
ジュニアカヌー教室	7/24.8/7.9/25	沖美公民館	継続	12	100%
金谷雷聲 書道講座	8/15.16	大柿公民館	新規	18	72%
おはなし村	10/8	大柿公民館	継続	30	100%
農場見学・卵ひろい	11/12	大柿公民館	新規	13	100%

- 毎月「広報えたじま」の行事案内欄に講座案内を掲載し、周知を図った。
- 公民館まつりにおいて、講座等のPRを行った。
- 学校や市PTA連合会等に、講座の周知を行った。

3 評価

評価指標	若年層（50 歳未満）利用者数割合
実績値（平成 27 年度）	44.0%
目標値（平成 28 年度）	50.0%
総合評価	54.8% (内訳：江田島公民館 44.5%，中町公民館 72.6%，沖美公民館 86.7%，大柿公民館 35.6%)

- 目標を達成できた。

4 改善策

- なし

平成 28 年度 点検評価票〔最終〕

中期経営目標	市美術展の充実を図る。
短期経営目標	市美術展の来場者数の増加を図る。

1 短期経営目標（具体）

市美術展の来場者数の増加を図る。

2 取組・方策

<p>○11月3日（木・祝）～11月6日（日）の開催に向け、実行委員会において検討・協議し、同時開催とした市文化協会との協力のもと事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市文化協会と協力し、作品発表会との同時開催とした。 ・ミニコンサートの日程を拡大し実施した。 <p>① 11/3（木・祝）「ギター&マンドリン」 ② 11/5（土）「クラリネット&ピアノ」 ③ 11/6（日）「ギター&オルゴール」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・審査員作品の特別展示を実施した。 ・学校見学会を実施し、実行委員による作品解説を行った。（11月4日（金），参加：5校-331名） ・巡回展を実施した（学びの館：11/11（金）～11/13（日）） <p>○広報紙，ホームページ，フェイスブック，ポスター，チラシ折込みなどで周知した。</p>

3 評価

評価指標	来場者数
実績値（平成27年度）	945人
目標値（平成28年度）	950人
総合評価	994人

<p>○目標を達成した。</p> <p>来場者 994人</p> <p>（内訳）平成28年11月3日（木・祝） 370人 11月4日（金） 147人 11月5日（土） 242人 11月6日（日） 235人</p>
--

4 改善策

○なし

平成 28 年度 点検評価票〔最終〕

中期経営目標	歴史資料館の活性化を図る。
短期経営目標	学びの館，大柿地区歴史資料館（灘尾記念文庫）の来場者数の増加を図る。

1 短期経営目標（具体）

学びの館，大柿地区歴史資料館（灘尾記念文庫）の来場者数の増加を図る。

2 取組・方策

○学びの館

ものづくり教室を実施した。

平成 27 年度：9 回実施

平成 28 年度：11 回実施

市民ギャラリーを実施した。

平成 28 年度：9 回実施

学びの館ものづくり教室（平成 28 年度実績：抜粋）

教室名	実施日	参加者数
和風バスケット作り	6/25	20
竹のおもちゃ作り	8/7	29
わたしのうつわ作り	9/24	29
煎茶体験（演奏会）	10/9	66
オリジナルキャンドル作り	2/25	26

○大柿地区歴史資料館（灘尾記念文庫）で歴史講座を実施した。

学びの館市民ギャラリー（平成 28 年度実績：抜粋）

展示名	実施	観覧者数
西本いさむ 2016 森羅万象「続・真夏の Earth」	7 月	303
藤井佳枝 写心展	8 月	358
中土井滋日本画展（海のロマンをたずねて）	10 月	312
発泡スチロールアート作品展	12 月	212
野鳥写真展～江田島の冬鳥たち～	1 月	215

○事業実施について広報等での PR を行うと共に，チラシを
広範囲に配布した。

3 評価

評価指標	来場者数
実績値（平成 27 年度）	学びの館：8,486 人，大柿地区歴史資料館（灘尾記念文庫）：692 人
目標値（平成 28 年度）	学びの館：8,500 人，大柿地区歴史資料館（灘尾記念文庫）：700 人
総合評価	学びの館 8,961 人 大柿地区歴史資料館（灘尾記念文庫） 770 人

○両館とも目標値を達成した。

学びの館 8,961 人

大柿地区歴史資料館（灘尾記念文庫） 770 人

4 改善策

○なし

平成 28 年度 点検評価票〔最終〕

中期経営目標	図書館の充実を図る。
短期経営目標	図書館年間貸出冊数の増加を図る。

1 短期経営目標（具体）

図書館年間貸出冊数の増加を図る。

2 取組・方策

○2館1室合同の「本でめぐる 江田島しましまスタンプラリー」を秋の読書週間に因んで9月16日～11月30日まで実施した。

○ミニ図書館の開催場所を変更し、毎月の「広報えたじま」の図書館だより欄に、ミニ図書館（移動図書館）の開催日時欄を設け、周知を図った。

ミニ図書館の実績（4月～2月）※月2回

場 所	利用人数	利用冊数
津久茂児童館 (4・5月のみ1回)	124	589
切串公民館 (4・5月のみ1回)	227	1,175
三高会館 (4・5月のみ1回)	136	487
市民サービスセンター (4・5月のみ1回)	26	37

○図書館だよりや行事案内を市内各小中学校、保育園、公民館、港ターミナル、子育て支援センター等に配布または掲示し、周知を図った。

○各館（室）に他館（室）のおすすめの本展示コーナーを設け、利用促進を図った。

○子ども読書活動推進計画の取組として、「子どもの日スペシャル(5月)」や「図書館フェスタ(10, 12月)」, 「ふれあい広場(毎月)」を実施した。

○読書貯金通帳を配布した。(164冊)

3 評価

評価指標	年間貸出冊数
実績値（平成27年度）	110,572冊
目標値（平成28年度）	113,000冊
総合評価	103,767冊

○目標を達成できなかった。

貸出冊数：103,767冊（91.8%）

4 改善策

○図書館利用に関し、利用案内チラシを市内各所に配布または掲示し、PRを強化する。

○「本でめぐる江田島しましまスタンプラリー」を夏季休業中に実施する。

○「子ども司書」養成講座の参加者を増やし実施する。

3 外部評価委員の意見

外部評価委員名簿

	氏名	備考
委員長	田丸 正実	学校関係者 (元鹿川小学校校長)
副委員長	藤本 真砂子	社会教育関係者 (社会教育委員)
委員	平根 眞澄	市関係者 (元江田島市教育委員会教育 総務課長)

(1) 教職員の服務規律の厳正確保を図る

ここ数年間は不祥事が生起していない。このことは、不祥事「ゼロ」を目指した取組が継続され、教職員一人一人の不祥事に対する意識の高揚が図られているものと考えられる。さらに、教育委員会の指導が各学校へ浸透し、各学校で計画的な研修が進められている様子が伺える。特に、管理職による業績評価（自己申告）書に伴う個人面談時においても服務規律の徹底を図るよう指導がなされていたことも評価したい。今後も不祥事「ゼロ」が継続されることをお願いしたい。

(2) 児童生徒の学力の向上を図る

学力の向上を図るために江田島市では、高い目標数値（県平均通過率より5ポイント以上上回る）を設定して取り組んできた。その結果、小学校では全教科、中学校では国語・英語が目標を達成した。数学・理科も県平均は上回った。小学校・中学校とも着実に学力が向上していることが伺える。このことは、教育委員会が主催する研修会や指導など、また、各学校での「学力向上チェックリスト」をもとにした授業改善などが実施され、きめ細かな指導がなされている結果と考える。

今後も、「市町の挑戦加配」教員等を活用したティーム・ティーチングの導入など、教育委員会の事業として各校へ加配教員を配置することを要望する。

(3) 児童生徒の豊かな心を育成する

生徒指導主事・保健主事研修などにおいて、問題行動の未然防止やいじめ未然防止についての研修がなされ、各学校でも素早い対応で取り組まれている。その結果、暴力行為も減少している。また、「いじめ撲滅」を目指した取組もなされ、その成果も現れている。「ネットトラブル」の講演会開催と同様「薬物」についても研修の機会が必要ではないだろうか。

教職員による生徒指導自主研究グループも発足し、積極的な生徒指導についての研究など、推進役として今後の取組に期待したい。

(4) 児童生徒の体力の向上を図る

体力向上推進協議会による研修会や、県立広島大学の協力を得ながら、分析をもとに各校で取り組まれた結果が、体力向上に繋がってきている。目標値をかなり上回ってきている現状である。今後も継続した取組をお願いしたい。

1校1競技の取組は評価するところである。さらなる体育の授業改善も試みて頂きたい。

中学校においては、対外的な部活動への補助も継続され、今後も予算措置を継続されることを要望する。

(5) 公民館講座等の充実を図る

公民館の講座へ若年層の参加率を上げていくために、前年度の反省を生かし、ニーズにあった講座や親子での参加などを取り入れた。その結果、目標値を大きく上回ることができた。事務局が講座など改善したことが要因であると考えられる。

今後は、アンケートを参考にしながら、参加者の声を生かした講座も考えてみてはどうか。また、好評であれば、どの公民館でも開催することも検討して頂きたい。

どの年代を対象とした講座を設定するかなど、他の関連機関などとも連携した講座の開催も今後の検討課題にしてほしい。

(6) 市美術展の充実を図る

平成28年度の市美術展においては、市文化協会と協力し、同時開催や審査員の作品展示を始めコンサートの実施など、事務局の企画が来場者の増加に繋がったように思う。さらに、開催期間が4日間あったことも影響しているものと推測できる。

また、市内小中学生の見学会を継続実施するなど、今後さらに期待したい。

さらに、市長部局へは、ホール・大柿自然環境体験学習交流館（さとうみ科学館）・美術館・歴史館などの複合施設の建設を強く要望したい。

人口減や出品者の高齢化の問題を勘案し、今後へ向けた美術展の在り方を検討する場が必要なのではないだろうか。

（７）歴史資料館の活性化を図る

学びの館や大柿地区歴史資料館の来場者数が年々増加している。学びの館では、ものづくり教室の工夫やギャラリーの実施回数の増加、資料館では歴史講座を実施するなど、取り組まれた結果が増加に繋がったように考える。事務局の積極的な取組に高い評価をしたい。

今後、来場者を増やすために公民館活動など、他の団体との連携も視野に入れてみたらどうだろうか。

（８）図書館の充実を図る

目標貸出冊数にはわずかに届かなかったものの、「本でめぐる江田島しましまスタンプラリー」、「こどもの日スペシャル」、「図書館フェスタ」等、アイデアに富んだ取組がなされている。また、ミニ図書館の実績として、利用冊数が増えていることが挙げられる。こうした取組を今後も継続しながら、多くの市民が親しみを持ち、活用できる図書館であり続けて欲しいと願っている。

本の貸出冊数の増加への取組も大切ではあるが、図書館を気軽に利用する市民が増えていくことを期待している。

総合評価について

今回、短期経営目標に基づく８事業に対して意見を付した。

中期経営目標が最終年に当たる。この３年間、教育委員会が重点的に取り組まれている施策が確実に展開され、目標設定されたものがほとんどの事業で達成されていたことを高く評価したい。

各事業の目標値は決して低い設定ではない。教育委員会事務局の職員一人一人の意欲と使命感を持って取り組んだ結果だと言える。

各学校では、校長を中心とした組織的な学校経営がなされ、教職員一人一人の日々の教育実践が実りあるものになりつつあると強く感じている。

こうしたことは、江田島市教育委員会経営計画にもとづき、着実に実行されてきた結果であると受け止めている。

要望としては、平成29年度からは新たな中期経営計画を設定し、取り組まれることになると思うが、数値目標だけでなく、児童生徒の行動の様子など、より具体的な姿をイメージできる短期経営目標を設定してみてはどうか。

今後のさらなる充実・発展を期待する。

4 その他

(1) 教育委員会の活動状況

ア 教育委員会委員

職名	氏名	性別	備考
委員長	三島 雅司	男	元行政関係者
委員長職務代理者	樋上 美由紀	女	元教育関係者
委員	柳川 政憲	男	自営業者・保護者
委員	今井 絵里子	女	保護者
教育長	塚田 秀也	男	行政関係者

イ 教育委員会会議の開催状況

定例会 12回, 臨時会 2回

そのうち 6月20日(月) 柿浦小学校訪問

9月20日(火) 江田島図書館, 江田島公民館, 学びの館訪問

2月20日(月) 三高小学校訪問

ウ 教育委員会会議の議決事項

番号	期日	種別	件名
1	4月1日	臨時会	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度江田島市教育委員会経営計画及び自己評価表 江田島市教育委員会の職員の任免
2	4月19日	定例会	<ul style="list-style-type: none"> 江田島市立小中学校職員服務規程の一部を改正する訓令案 江田島市安全運転管理規程の一部を改正する訓令 教育委員会の附属機関の委員の委嘱 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免
3	5月16日	定例会	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度全国学力・学習状況調査における結果公表 平成29年度に市立学校で使用する教科用図書のうち, 学校教育法附則第9条の規定による図書に係る採択基本方針案 江田島市公民館設置及び管理条例の一部を改正する条例案 江田島市選挙運動のためにする個人演説会等開催のために必要な設備の程度等に関する規則の一部を改正する規則案 教育委員会の附属機関の委員の委嘱 教育委員会の所管に属する学校の職員の任免
4	6月20日	定例会	<ul style="list-style-type: none"> 江田島市教育委員会事務点検・評価報告書(平成27年度事業対象) 高齢者叙勲の推薦 平成28年度江田島市一般会計(第1号)補正予算(教育委員会関係分) 江田島市安全運転管理規程の一部改正 教育委員会の附属機関の委員の委嘱 教育委員会の所管に属する学校の職員の任免 江田島市スポーツ推進計画審議会委員の委嘱
5	7月19日	定例会	<ul style="list-style-type: none"> 江田島市教育支援委員会委員の委嘱 教育委員会の所管に属する学校の職員の任免

6	8月23日	定例会	<ul style="list-style-type: none"> 江田島市立学校長に対する事務委任規程を廃止する訓令案 平成29年度に小・中学校特別支援学級で使用する教科用図書の採択 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免
7	9月20日	定例会	<ul style="list-style-type: none"> 江田島市スポーツ推進計画 自家用車の公務使用に関する取扱要領の一部を改正する訓令案 平成29年秋の叙勲候補者（教育功労）の推薦 平成28年度広島県教育賞被表彰候補者の推薦 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免 平成28年度江田島市一般会計（第2号）補正予算（教育委員会関係分）
8	10月17日	定例会	<ul style="list-style-type: none"> 江田島市立学校の学校医，学校歯科医，学校薬剤師の委嘱 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免
9	11月16日	定例会	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者叙勲の推薦 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免
10	12月26日	定例会	<ul style="list-style-type: none"> 江田島市立学校職員のストレスチェック制度実施に関する規程の制定 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免
11	1月16日	定例会	<ul style="list-style-type: none"> 江田島市立小中学校職員服務規程の一部を改正する訓令案 江田島市教職員住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例案 江田島市鷺部教職員住宅管理規則を廃止する規則案 江田島市教職員住宅管理規則の一部を改正する規則案 平成28年度江田島市一般会計（第3号）補正予算（教育委員会関係分） 教育委員会の附属機関の委員の委嘱 教育委員会の所管に属する学校の職員の任免
12	2月20日	定例会	<ul style="list-style-type: none"> 障害を理由とする差別の解消の推進に関する江田島市教育関係職員対応要領を定める訓令案 平成28年度江田島市一般会計（第4号）補正予算（教育委員会関係分） 平成29年度江田島市一般会計予算（教育委員会関係分） 江田島市スポーツ推進委員の委嘱 江田島市社会教育委員の委嘱 教育委員会の附属機関の委員の任命等 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免
13	3月15日	臨時会	<ul style="list-style-type: none"> 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免
14	3月21日	定例会	<ul style="list-style-type: none"> 江田島市立学校の学校医の委嘱 江田島市教育委員会外部評価委員会委員の委嘱 江田島市安全運転管理規程の一部を改正する訓令 江田島市教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免

(2) 教育委員の活動

ア 研修会への出席

期日	件名	場所	出席者
4月13日	第1回広島県市町教育長会議	広島市	教育長
4月18日	広島県都市教育長会春の総会	福山市	教育長
5月16日	第1回西部教育事務所管内教育長，部・課長等会議	呉市	教育長
5月19～20日	全国都市教育長協議会定期総会並びに研究大会	徳島市	教育長
5月31日	広島県市町教育委員会連合会定期総会	広島市	委員長
7月11日	女性教育委員グループ総会並びに第1回研修会	広島市	委員2名
7月21日	第2回西部教育事務所管内教育長，部・課長等会議	呉市	教育長
10月3日	広島県都市教育長会秋の総会	福山市	教育長
10月20～21日	中国地区都市教育長会定期総会並びに研究協議会	倉吉市	教育長
10月25日	広島県市町教育委員会連合会教育委員研修会	広島市	委員2名
10月28日	女性教育委員グループ第2回研修会	庄原市	委員1名
11月17日	市町村教育委員会研究協議会（第2ブロック）	高知市	教育長
12月16日	第2回広島県市町教育長会議	広島市	教育長
12月19日	第3回西部教育事務所管内教育長，部・課長等会議	広島市	教育長
2月3日	第3回広島県市町教育長会議	広島市	教育長
2月27日	女性教育委員グループ第3回研修会	広島市	委員2名

イ 式典への出席

小中学校入学式及び卒業証書授与式における教育委員会告辞

ウ その他

各委員による学校行事をはじめ教育委員会所管施設の各種行事への参加，各種委員としての参加

平成28年度江田島市教育委員会 経営計画

I ミッション

子どもたちが夢や目標を持って学び、育ち、市民一人ひとりが、生涯を通じて、学び、活動し、生きがいを感じ輝くことは、豊かな暮らしの基盤となる。

このため、学校教育では、児童生徒の生きる力を育むことを目指し、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」をバランスよく育成し、その水準の向上に努める。

また、生涯学習では、公民館活動などの社会教育をはじめ、スポーツ振興における普及・啓発活動や、文化・芸術・スポーツにおける学習機会の確保と教育環境の整備・充実により、「人が育ち、輝くまち」を目指す。

II ビジョン

- 【児童生徒像】**
- 生きる力である「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」がバランスよく育成され、その水準が向上している。
- 【学校像】**
- 組織的な学校体制のもとで、質の高い教師が育成されるとともに、学校・家庭・地域の連携を推進し、信頼される学校づくりを目指している。
- 【市民像】**
- 文化・芸術・スポーツ等の生涯学習活動において、市民一人ひとりが、生きがいを感じ、生き生きと暮らしている。
- 【教育委員会像】**
- 報告・連絡・相談による組織的な対応ができる。
 - クイックレスポンス（すばやい対応）ができる。

III 現状分析

- 【学校教育】**
- 教職員の懲戒処分については、平成27年度は発生していない。（平成26年度も発生していない。）
 - 広島県「基礎・基本」定着状況調査の平均通過率において、平成27年度は、中学校国語（▲1.4ポイント）、中学校理科（▲1.5ポイント）、中学校英語（▲1.8ポイント）で県平均を下回った。（平成26年度は、中学校理科（▲0.3ポイント）、中学校英語（▲0.7ポイント）で県平均を下回った。）
 - 生徒指導上の諸問題において、平成27年度は、暴力行為の1,000人あたりの発生件数が中学校で15.4件（平成26年度 県12.0件、本市23.9件）である。小学校は発生していない。（平成26年度 県3.6件、本市0.0件）
 - 意識調査（市調査平成28年2月実施）「自分にはよいところがあります」において、肯定的回答は、小学校第5学年で79.8%、中学校第2学年で77.1%である。（平成27年度「基礎・基本」定着状況調査の県平均は小5 78.9%、中2 70.6%）
 - 体力・運動能力調査において、平成27年度は、全国平均以上の種目数の割合は75.7%である。（平成26年度は、67.3%）
- 【生涯学習】**
- 公民館講座の若年層（50歳未満）利用者数割合については、平成27年度は44.0%にとどまり、目標の48.0%を達成できなかった。（平成26年度43.7%）
 - 市美術展の平成27年度の来場者数は945人である。（平成26年度759人）
 - 学びの館及び大柿地区歴史資料館（灘尾記念文庫）の平成27年度の来場者については、学びの館8,486人（平成26年度6,874人）、大柿地区歴史資料館（灘尾記念文庫）692人（平成26年度625人）である。
 - 図書館の年間貸出冊数は、平成27年度110,572冊である。（平成26年度105,629冊）

IV 目標及び取組

	中期経営目標	短期経営目標	具体的な取組・方策
学校教育	教職員の服務規律の厳正確保を図る。	教職員による不祥事を0（ゼロ）にする。	<ul style="list-style-type: none"> ○ すべての主催研修において、「服務規律の確保」に関する内容の講話等を行う。 ○ 5月を「不祥事根絶強化月間」とし、重点的な取組を行う。 ○ 全児童生徒に「体罰」「セクシュアル・ハラスメント」のアンケートを毎学期実施する。
	児童生徒の学力の向上を図る。	基礎的・基本的な知識・技能を定着させ、思考力・判断力・表現力を向上させる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学びの変革」推進協議会を設置し、取組を進める。 ○ 「学力向上チェックリスト」のすべての項目において、その質が向上するように、具体的に指導助言する。 ○ ICT活用事業、外国語指導事業を実施する。また、各事業に市町の挑戦加配を配置する。 ○ 学力向上及びICT活用に関する先進校を視察する。
	児童生徒の豊かな心を育成する。	暴力行為の発生件数を減少させる。 自己効力感を向上させる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 9月を「いじめ撲滅月間」とし、重点的な取組を行う。 ○ 全児童生徒に「いじめ」のアンケートを毎学期実施する。 ○ 生徒指導自主研究グループで積極的生徒指導について研究し、その成果を普及する。 ○ 全校で児童生徒を対象とした情報モラルに関するネットトラブル講演会を実施する。 ○ ふるさと実感事業を実施する。
	児童生徒の体力の向上を図る。	体力・運動能力を向上させる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県立広島大学地域戦略協働プロジェクトにおける体力・運動能力調査の分析等をもとに、学校訪問等で具体的な指導を行う。 ○ 小学校において1校1競技、中学校において部活動の活性化を図る。 ○ 江田島市体力向上推進協議会に対して、指導助言を行うなど体力向上の取組を支援する。
	公民館講座等の充実を図る。	公民館講座の若年層の利用者数割合の増加を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ すべての講座のアンケートを実施する。 ○ 各館の連携強化による情報共有を図り、若年層ニーズにあった講座を充実させる。 ○ 公民館まつりにおいて講座等のPRを行う。 ○ 市PTA連合会に講座を周知し、参加を呼びかける。 ○ 広報等でPRし、周知を図る。
生涯学習	市美術展の充実を図る。	市美術展の来場者数の増加を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文化協会作品発表会と共同で開催する。 ○ 関係者へ積極的に出品を依頼する。 ○ コンサートや特別企画を実施する。 ○ 広報等でPRし、周知を図る。
	歴史資料館の活性化を図る。	学びの館、大柿地区歴史資料館（灘尾記念文庫）の来場者数の増加を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ ものづくり教室の充実を図る。（学びの館） ○ 文化財講座などを開催する。（歴史資料館） ○ 展示企画を充実させる。 ○ 広報等でPRし、周知を図る。
	図書館の充実を図る。	図書館年間貸出冊数の増加を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2館1室合同の「スタンプラリー」を実施する。 ○ 利用案内チラシを作成し、市内各所に配布する。 ○ ミニ図書館の開催場所を検証し、変更する。 ○ 行事案内を市内小中学校に周知する。 ○ 子ども読書活動推進計画の具体的な取組を実施する。 ○ 読書預金通帳を配布する。

平成28年度 自己評価表〔最終〕

江田島市教育委員会

	中期経営目標	短期経営目標	評価項目	評価指標	実績値	目標値	評価 (自己評価の結果)	改善策
					平成27年度	平成28年度		
学校教育課	教職員の服務規律の厳正確保を図る。	教職員による不祥事を0（ゼロ）にする。	<ul style="list-style-type: none"> ○ すべての主催研修において、「服務規律の確保」に関する内容の講話等を行う。 ○ 5月を「不祥事根絶強化月間」とし、重点的な取組を行う。 ○ 全児童生徒に「体罰」「セクシュアル・ハラスメント」のアンケートを毎学期実施する。 	懲戒処分件数	0件	0件	0件	なし
	児童生徒の学力の向上を図る。	基礎的・基本的な知識・技能を定着させ、思考力・判断力・表現力を向上させる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学びの变革」推進協議会を設置し、取組を進める。 ○ 「学力向上チェックリスト」のすべての項目において、その質が向上するよう、具体的に指導助言する。 ○ ICT活用事業、外国語指導事業を実施する。また、各事業に市町の挑戦加配を配置する。 ○ 学力向上及びICT活用に関する先進校を視察する。 	広島県「基礎・基本」定着状況調査の平均通過率	小5 国 (+2.1) 算 (+1.6) 理 (+0.9) 中2 国 (▲1.4) 数 (+0.5) 理 (▲1.5) 英 (▲1.8)	全ての教科で県平均を5ポイント以上上回る。	小5 国 (+5.3) 算 (+5.1) 理 (+5.2) 中2 国 (+6.9) 数 (+3.8) 理 (+0.2) 英 (+5.3)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学力向上チェックリスト」(改訂版)を活用し、授業改善等について助言を行う。 ○ 市町の挑戦加配として、中学校理科教員を配置する。
	児童生徒の豊かな心を育成する。	暴力行為の発生件数を減少させる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 9月を「いじめ撲滅月間」とし、重点的な取組を行う。 ○ 全児童生徒に「いじめ」のアンケートを毎学期実施する。 ○ 生徒指導自主研究グループで積極的生徒指導について研究し、その成果を普及する。 	暴力行為の1000人あたりの発生件数(中学校)	15.4件	11.5件	4.6件	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道徳教育推進教師等を対象とした市主催研修(心の教育担当者研修会)を実施する。 ○ 教育相談体制の充実を図る。
		自己効力感を向上させる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全校で児童生徒を対象とした情報モラルに関するネットトラブル講演会を実施する。 ○ ふるさと実感事業を実施する。 	意識調査「自分にはよいところがあります」の肯定的回答割合	小5 : 79.8% 中2 : 77.1%	小5 : 88% 中2 : 85%	小5 : 91.7% 中2 : 67.2%	
	児童生徒の体力の向上を図る。	体力・運動能力を向上させる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県立広島大学地域戦略協働プロジェクトにおける体力・運動能力調査の分析等をもとに、学校訪問等で具体的な指導を行う。 ○ 小学校において1校1競技、中学校において部活動の活性化を図る。 ○ 江田島市体力向上推進協議会に対して、指導助言を行うなど体力向上の取組を支援する。 	体力・運動能力調査の全国平均以上の種目数割合	75.7%	77.0%	81.3%	なし
生涯学習課	公民館講座等の充実を図る。	公民館講座の若年層(50歳未満)利用者数割合の増加を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ すべての講座のアンケートを実施する。 ○ 各館の連携強化による情報共有を図り、若年層ニーズにあった講座を充実させる。 ○ 公民館まつりにおいて講座等のPRを行う。 ○ 市PTA連合会に講座を周知し、参加を呼びかける。 ○ 広報等でPRし、周知を図る。 	若年層(50歳未満)利用者数割合	44.0%	50.0%	54.8%	なし
	市美術展の充実を図る。	市美術展の来場者数の増加を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文化協会作品発表会と共同で開催する。 ○ 関係者へ積極的に出品を依頼する。 ○ コンサートや特別企画を実施する。 ○ 広報等でPRし、周知を図る。 	来場者数	945人	950人	994人	なし
	歴史資料館の活性化を図る。	学びの館、大柿地区歴史資料館(灘尾記念文庫)の来場者数の増加を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ ものづくり教室の充実を図る。(学びの館) ○ 文化財講座などを開催する。(歴史資料館) ○ 展示企画を充実させる。 ○ 広報等でPRし、周知を図る。 	来場者数(学びの館)(大柿地区歴史資料館(灘尾記念文庫))	8,486人 692人	8,500人 700人	8,961人 770人	なし
	図書館の充実を図る。	図書館年間貸出冊数の増加を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2館1室合同の「スタンプラリー」を実施する。 ○ 利用案内チラシを作成し、市内各所に配布する。 ○ ミニ図書館の開催場所を検証し、変更する。 ○ 行事案内を市内小中学校に周知する。 ○ 子ども読書活動推進計画の具体的取組を実施する。 ○ 読書預金通帳を配布する。 	年間貸出冊数	110,572冊	113,000冊	103,767冊	<ul style="list-style-type: none"> ○ 図書館利用のPRを強化する。 ○ 「スタンプラリー」を夏季休業中に実施する。 ○ 「子ども司書」養成講座の参加者を増やす。